

第43巻第4号 (1990年3月)

〔論文〕

銀行の自己資本比率規制……………小林 威 雄

木村重義博士の簿記理論……………茂 木 虎 雄

—昭和初期の勘定理論展開史によせて—

Überlegungen zum Prozeß der Industrialisierung und Modernisierung Japans
und zur wissenschaftlichen Analyse……………住 谷 一 彦

唯物弁証法の発展……………井 上 周 八

中世都市民共同体の生成……………田 中 正 義

—ノリッチ市の場合—

分業の経済学的研究……………山 本 二 三 丸

ドゥーガルド・ステュアートの経済理論……………太 田 要

—古典学派生成期における貨幣・価格論の一局面—

戦後世界経済と東アジア……………郭 洋 春

—東アジア経済圏の開発とその経済的・政治的意味—

海港都市ボルティモアにおける工業化の歴史的諸要因……………浜 文 章

—外国貿易の展開と初期工業化を中心に—

〔資料〕

シャハト著作目録(1895-1936年)(上)……………川 瀬 泰 史

執筆者紹介 (掲載順)

茂 木 虎 雄	本学経済学部教授
菊 地 進	本学経済学部助教授
田 中 正 義	本学名誉教授
山 本 二 三 丸	本学名誉教授
榎 守 哲 士	本学経済学部助手
松 野 尾 裕	本学経済学部助手
川 瀬 泰 史	本学大学院博士課程在籍
山 下 高 之	立命館大学経営学部教授